

星 空を楽しむ基本は、今見て
いる星空にどんな星座がある
のか分かることだと思っています。

現在使われている88星座は、その
多くがギリシャ神話に由来してい
ますが、その名前や範囲が国際天
文連盟によりきちんと定められた
のは1930年（昭和5年）のこ
とで、まだ100年も経っていま
せん。そして、星座ガイドブック
といった書籍には、ギリシャ神話
の解説に多くのページが使われて
います。そのため、ギリシャ神話
を知ることが星座の楽しみそのも
のといった感もあると思います。

しかし、星にまつわる神話や
言い伝えはギリシャ神話し
かないの？といった疑問を持つ方
も多いのではないのでしょうか。私
も天文に興味を持った中学生の頃
から、そのような疑問を持って
いましたが、その後のいろいろ調べ
てみて、体系化された日本独自の

星座といったものはなかったもの
の、「星の和名」「星の方言」とい
われる伝承が各地に残っていたこ
とを知りました。星空を見上げる
時、和名も知っていたら、より楽
しめると思います。

例 として、この広報紙が出る
3月中旬では夕方暗くなる
と西空に見える「スバル」をあげ
ると、元東京天文台長の広瀬秀雄
先生は、著書「日本人の天文観」
の中で次のように書いています。

『すばるまん時粉八合』というよ
うなことは農業地域でよく聞か
れるものである。昴（すばる）す
なわちプレアデスとヨーロッパで
呼ぶ有名な肉眼的散開星団が夜明
け方に南中する頃に蕎麦を蒔く
と、最もよくみのつて、一升の実
から八合の粉がとれるという意味
だという。』

す ばるは、「スバル」とカタ
カナで書かれることが多い

ため、外国の呼び名と思っ
ても多いと思いますが、語源は集
まって一つになるという意味の
「統（す）まる」といわれてお
り、和名です。ほかにも、六連と
いう意味の「ムツラ」「ムツラボ
シ」、見た目そのものの「ゴチャ
ゴチャボシ」という和名も残され
ています。

ま た、オリオン座の三ツ星に
ついては、農具に見立てて
カラスキボシ（柄鋤星）、漁具で
はカナツキボシ（金突星）、身の
回りにある道具では小三ツ星と合
わせてサカマスボシ（酒杓星）と
いう和名も残されています。石橋
正さんの著書によると、いわき市
の四倉・久之浜でイカ釣りの暦と
して昭和30年頃まで「サンデイシ
サマ（三大師様）」が使われてい
たとのこと。

こ のように、農業や漁業の暦
替わりや道具を模した星の
和名は多様で各地にたくさん残さ
れています。

私 の持っている書籍等では、
会津地域に伝わる星の和名
や伝承は残念ながらありませんで
したが、「そういえば、爺さんが
あの星のことを〇〇星と呼んでい
たなあ」というようなことがあれ

Q 心掛けていることは？

地域の皆さんのかけがえのない
森林を整備していますので、丁寧
な仕事を心掛けています。

Q 大変なことは？

基本的に山での作業になるた
め、夏は暑く冬は寒いことです。
また、危険な箇所もありますの
で、気をつかいます。

Q やりがいは？

森林整備を行い、地域の方々か
ら綺麗になった、森林組合にお願
いしてよかったという声を聞くと
やりがいを感じます。

Q どんな町になってほしい？

豊かな森林がある町であること
を、きとねから情報発信すること
で「南会津町Ⅱ木の町」という認
識を多くの方々に広めていきたい
です。



森で働く人々

南会津森林組合
所在地：南会津町田島字宮本東 33-1
設 立：平成 27 年 3 月 1 日
連絡先：0241-64-5071

【問合せ】

農林課 林業振興係 電話 0241-62-6220



きとね
Instagram
はコチラ



きとね
X(旧Twitter)
はコチラ



技 師 星 雄一 さん

南会津森林組合は現在、町内に
おける森林の造林・保育等が主な
業務となっています。造林地のみ
ならず、各地区の里山林整備や景
観整備事業にも力を入れており、
地域全体の森林を守り育てていま
す。



KITONE NEWS

きとねが「福島県建築文化賞」の最高賞を受賞！



滑田さん㊦、渡部町長㊦、芳賀沼さん㊦

第 39 回福島県建築文化賞において、みなみあいづ森と
木の情報・活動ステーション「きとね」が、最高賞にあ
たる「正賞」に選ばれました。きとねは町の林業や建築
業に携わる人々の知恵や経験と技術を結集し、伐採から
加工、建築まで一貫して町内事業者で完結したことが高
く評価され、今回の受賞となりました。

1 月 22 日、福島市の杉妻会館で表彰式が行われ、内堀
知事より、建築主の渡部町長、設計者の(株)はりゅうウッ
ドスタジオの滑田崇志代表取締役、施工者の(株)芳賀沼製作
の芳賀沼伸代表取締役に賞状と記念品が送られました。



撮影：2005年1月 針生 湯田 哲

マックホルツ彗星
がスバルの近くを通
過した時の画像で
す。肉眼では見え
ませんが、写真では周
辺の星雲も映るた
め、明るい星が青白
くにじんだように
なります。

ば、是非教えていただきたいと思
います。
な お、本コラムを書くにあた
り、広瀬秀雄著「日本人の
天文観」、野尻抱影著「日本星名
辞典」「日本の星」、北尾浩一著「日
本の星名辞典」、石橋正著「星の
海を航く」を参考にしました。
三野輪眞明(東亜天文学会会員)

ご意見・ご要望はコチラまで 商工観光課 電話 0241-62-6200